

東京・日本橋で「相模原市 企業向けトップセミナー」を開催します

東京都心から 40km 圏内、首都圏南西部に位置し、良好な市街地と自然が共存する都市、相模原市。
人口は約 72 万人。首都圏中央連絡自動車道が開通し（市内に IC が 2 箇所）、平成 39 年にはリニア中央新幹線の開業（市内橋本駅周辺に新駅設置）が予定されています。
広域交流拠点として更に発展を続ける本市の多彩な「強み」= 優れたビジネス環境・投資環境を、相模原市長から皆様にご紹介します。

<概要>

相模原市 企業向けトップセミナー

「未来を拓くさがみはら～国際的なビジネス拠点をめざして～」

日時：平成 29 年 2 月 8 日（水） 14 時～17 時

会場：コンgresクエア日本橋

中央区日本橋 1-3-13 東京建物日本橋ビル 3 階

東京メトロ銀座線・東西線・都営浅草線

「日本橋」駅 B9 出口直結

対象：企業の担当者（定員 200 名）

事前申込制（先着順）

申込方法は、平成 29 年 1 月上旬に市ホームページでお知らせします

司会：三条 恵美（フリーアナウンサー）

参加費：無料



加山俊夫 相模原市長

📅 プログラム

第 1 部 セミナー

■市長プレゼンテーション

「本市の将来展望」

相模原市長 加山 俊夫

■特別講演

「日本の新交通体系システム『相模原モデル』とは

～圏央道型ロジスティクス・リニア中央新幹線がもたらす可能性～」

講師：寺島 実郎（多摩大学学長 一般財団法人日本総合研究所会長）

第 2 部 パネルディスカッション

■パネルディスカッション

「世界に向けて、未来を拓くさがみはら」

パネリスト 加山 俊夫 相模原市長

藤井 健 国土交通省国土政策局長

市川 宏雄 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科長・教授

■名刺交換会及び個別相談

📄 講師・パネリストのプロフィール 別紙のとおり

本件に関する問い合わせ先

総務局渉外部シティセールス・親善交流課

電話番号：042-707-7045

Lecture & panelists



特別講演

多摩大学学長

一般財団法人
日本総合研究所会長

寺島 実郎

JITSURO TERASHIMA

1947年北海道生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了後、三井物産入社。米国三井物産ワシントン事務所長、三井物産常務執行役員、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授等を歴任し、現在、文部科学省 日中韓大学間交流・連携推進会議委員、同省 グローバル人材育成推進事業プログラム委員会委員、同省 大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業プログラム委員会委員、経済産業省 資源エネルギー庁総合資源エネルギー調査会基本政策分科会委員、国土交通省 国土審議会計画推進部会委員、農林水産省「食と農の景勝地」検討委員会委員長、リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議総括アドバイザー等兼任。

1994年石橋湛山賞受賞。2010年4月早稲田大学名誉博士学位。

近著に、『寺島実郎 中東・エネルギー・地政学—全体知への体験的接近』（東洋経済新報社）、『（寺島実郎監修）全47都道府県幸福度ランキング2016年版』（東洋経済新報社）。その他に、『二十世紀と格闘した先人たち—一九〇〇年 アジア・アメリカの興隆』（新潮社）、『新・観光立国論—モノづくり国家を超えて』（NHK出版）、『何のために働くのか—自分を創る生き方』（文春新書）等、多数。

主なメディア出演として、TBS系列「サンデーモーニング」（日曜日8:00～/月2回程度）、BS11『寺島実郎の未来先見塾 ～時代認識の副読本～』（毎週金曜日20:59～21:49）、BS-TBS「月刊 寺島文庫 ～知の館から考える～」（毎月最終土曜日23:00～24:00）



パネリスト

明治大学公共政策大学院
ガバナンス研究科長・教授

市川 宏雄

HIROO ICHIKAWA

1947年東京生まれ。早稲田大学理工学部建築学科、同大学院博士課程を経て、カナダ政府留学生としてウォーターloo大学大学院博士課程修了（都市地域計画、Ph.D.）。富士総合研究所主席研究員等を経て、1997年明治大学政治経済学部教授、2004年から現職。専門は都市政策、危機管理、次世代政策構想。日本初の「世界の都市総合ランキング(GPCI、森記念財団)」の主査を務め、国内・海外で熾烈な世界の都市間競争について多数の講演を行う。政府や東京都、自治体等の審議会・委員会の会長・委員など多数歴任。現在、日本危機管理士機構理事長など要職多数。相模原市では都市計画審議会会長、広域交流拠点整備計画検討委員会副会長、防災会議「防災条例検討部会」座長など、10年以上にわたって政策に関わっている。

著書に『東京2025ポスト五輪の都市戦略』（東洋経済新報社、2015）、『東京—極集中が日本を救う』（ディスカヴァー、2015）、『東京五輪で日本はどこまで復活するのか』（KADOKAWA、2013）、『リニアが日本を改造する本当の理由』（メディアファクトリー、2013）など多数。



パネリスト

国土交通省
国土政策局長

藤井 健

TAKESHI FUJII

1959年東京生まれ。一橋大学経済学部を卒業後、建設省に入省。都市局、道路局、住宅局等を経て1999年から扇建設大臣（2000年より国土交通大臣）の大臣秘書官事務取扱。2007年より長崎県副知事。その後、国土交通省会計課長、大臣官房審議官（国土政策局担当）、関東地方整備局副局長を経て、昨年6月から国土政策局長。

大臣官房審議官時代、現在の第2次国土形成計画（2015年8月に閣議決定）の基礎となった「国土のグランドデザイン2050」（2014年7月決定）の策定を担当。

また、関東地方整備局副局長時代に、1都11県の知事、相模原市はじめ首都圏4政令市長等から成る首都圏広域地方計画協議会の事務局長として、新たな首都圏広域地方計画の策定に関与。